

誰もが誰かのサンタになれる。

H₂Oサンタ

チャリティー活動報告



コロナなので

コロナなので大会は中止です。

コロナなので締切りには間に合いません。

コロナなので盆踊りはありません。

学校、職場、地域、家庭など様々な場所で。

私自身、緊急事態宣言後「コロナなので～できない、仕方がない」とできない理由を探すがうまくなくなってしまったような気がして、この数ヶ月を振り返っています。新型コロナウイルス感染症は命に関わるため、物理的に制限しなければならないことがあります。しかし、自分で様々なことに言い訳をつくり、深く考えられていなかったことがあったのかもしれない。

こども支援に取り組む社会貢献団体の現場では、社会活動が萎縮して寄付が集まらず、活動資金が不足している団体があります。休校で給食が無くなり、昼ごはんを食べられないこどものために、家までお弁当を届ける配食活動を始めたこども食堂もあります。虐待から命を守る電話を受付けている団体は緊急事態宣言下でも24時間、こどもたちの命を守っていました。こども支援の現場では、コロナ禍を理由に活動を自粛できない問題にも取り組まれています。それどころか状況がより複雑化してしまっている事例も多々ありました。

一方、学習支援の団体では、外国からリモート中継で学生が勉強を教えるなど活動が世界に広がった例もあります。

私たちH₂Oサンタはそのようなこども支援に関わる団体の現状を少しでも多くの方に知っていただくために動画を作り配信しています。

多くの方に知っていただくことで支援の輪が広がります。

H₂Oサンタの合言葉は「誰もが誰かのサンタになれる」です。

ご支援、ご協力よろしくお願いたします。



一般財団法人H₂Oサンタ
事務局長 外間孝次

H₂Oサンタ取材レポート

コロナ禍の厳しい状況でこどもたちに寄り添う、2つの現場から

H₂Oサンタは、こどもを取り巻く問題の現状把握のため、こども支援の現場をたずね、定期的に専門家や社会貢献団体の方に取材を行っています。今回はコロナ禍の影響もある中、懸命にこども支援の現場を守り続けておられる2団体にお話をうかがいました。

取材・レポート：H₂Oサンタ事務局長 外間孝次



公益社団法人こどものホスピスプロジェクト



NPO法人関西こども文化協会

2020年に始まった新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、こども支援の活動に取り組む多くの社会貢献団体にも及んでいます。対面でこどもと接することが難しくなる一方で、虐待通告があれば、家庭を訪問してこどもの安全を確認することなども必要です。また、チャリティーイベントの開催中止や企業の業績の悪化により、寄付が少なくなり、運営資金の捻出に

苦労するなど、非常に困難な状況に直面しています。今回は、難病のこどもたちが家族との時間を過ごすこどもホスピスを運営する公益社団法人こどものホスピスプロジェクトと、いじめや虐待に苦しむこどもたちを支えるNPO法人関西こども文化協会に、長引くコロナ禍での活動について取材しました。

重い病気を抱えるこどもの願いを叶え、 家族とともに安心して過ごせる“第二のわが家”

公益社団法人こどものホスピスプロジェクト



公益社団法人こどものホスピスプロジェクトは、日本で初めてのこどものためのコミュニティ型ホスピスであるTSURUMIこどもホスピス(大阪市 鶴見緑地公園内)を開設しました。その活動内容と、コロナ禍での課題をゼネラルマネージャー 水谷綾さんにお聞きしました。

● TSURUMI こどもホスピスはどんな 経緯でつくられたのですか？

英国にあるこども向けホスピスの理念に共感し、日本にもこども向けのホスピスが必要という思いを持っていた大阪市立総合医療センターの先生方と、重い病気を抱えるこどもを持つ親の有志が2010年に、こどものホスピスプロジェクトを立ち上げ、2016年にTSURUMIこどもホスピスを開設しました。

● どのような施設ですか？

ホスピスというと“緩和ケアの病院”と思われるかもしれませんが、TSURUMIこどもホスピスは、病院ではありません。遊びにも行けず、買い物にも行けず、テーマパークにも行



入院中はできない、
家族と一緒に外で遊ぶことも



鶴見緑地公園内にあるTSURUMIこどもホスピス
こどもたちが走り回れる、芝生の中庭も

くことができないこどもたちがしたいと思うことを叶え、家族らしい温かな時間を過ごす“第二のわが家”です。

● どのこどもたちが訪れますか？

小児がん、先天性疾患、神経筋疾患といった命を脅かす病気とともに生きるこどもたちで、年間25家族ほどです。また、天国へ旅立ったお子さんのご遺族の方が、こどもとの楽しい思い出の場所として、訪れただけのことも大切な役割です。

きょうだいと遊ぶ、親子でごはんを食べて、一緒にお風呂に入る。大切な時間を、家族とともに

● ご利用者のお声を教えてください。

入退院を繰り返すこどもの親御さんたちにとって、入院中は医師や看護師に相談できますが自宅療養期間は相談相手がなく、入院しているこどもの家族同士のつながりも途絶えがちです。けれどもここでは、入院中に知り合った家族同士が集ってお泊りをしたり、おじいちゃん、おばあちゃんと過ごしたり、これまでできなかった時間を創り出せます。いわば、病院以外で安心して過ごせる、初めての場所なのです。だから「こどもホスピスがあってよかった」とよく言われます。



親子で料理を作って食べたり、入院中に知り合った家族が集まって食事を楽しんだりできる、ダイニングルーム



“富士山の部屋”と名付けられた
大きなお風呂で家族が
一緒に入る、初めての体験



たくさんのおもちゃや玩具、
絵本がある“どんぐりの部屋”

● コロナ禍で困っていることは？

この施設の運営費は、年間5,500万円ほどかかりますがその資金の大半を寄付に頼っています。そのため、企業などの様々なチャリティーイベントが開催できないというのは大きな痛手です。例えば、2019年の大阪マラソンでは、ありがたいことに約1,200万円の寄付をいただきましたが今年は中止になり、その寄付が一気になくなってしまいました。

● コロナ禍で新しく始めた取り組みは？

動物たちとふれあえるテーマパークに協力いただき、オンラインイベントを開催するなど、オンラインでTSURUMIこどもホスピスの活動を広める取り組みに力を入れています。コロナ禍ではありますが今までメッセージが届けられなかった人たちに広く届ける機会を得たとも思っています。

H2Oサンタ YouTubeチャンネルにて
「コロナ禍レポート
～こども支援の現場から～」を配信中



スタッフのみなさん(左から)饗庭さん(保育士)、西出さん(看護師)、水谷さん、市川さん(看護師)、畑さん(経理担当) ※撮影のためにマスクをはずしていただきました

いじめや不登校、虐待など、 子どもたちのSOSを受け止め、支える

NPO 法人関西子ども文化協会



NPO 法人関西子ども文化協会は、国連『子どもの権利条約』の具現化を目指し、子どもの人権を守る活動をしています。事務局長で常務理事の葛田(つただ)夏さんに、活動内容をおうかがいしました。

●どのような活動ですか？

児童相談所全国共通ダイヤル『189』など、24時間365日対応の電話相談、10代の子どもの居場所づくり、子育て支援です。社会福祉士、臨床心理士など、約100名の専門家がサポートしています。

●電話相談は、どのような内容ですか？

電話相談件数は毎年増加傾向で、“今、殴られている”“生きることがつらい”など、一晩に20件ほど、子どもが直接かけてくるのが大半です。同じケースはひとつもなく、時には警察や救急隊とも連携し、子どもたちの命を守ります。泣き声通告があれば、緊急事態宣言下でも、感染のリスクを抱えながら必要に応じて家庭を訪問し、子どもの安全確認を行いました。訪問先では、親御さんに“外出自粛中なのに来たのか”“うちの子は泣いていない”と言われることもあります

が“子育てで困りごとはありませんか”と声をかけ、悩みを打ち明けやすい状況をつくるようにしています。

●コロナ禍で、子どもを取り巻く状況にはどのような変化が？

虐待や暴力を受けているという相談が大きく増えました。これは家の中で過ごす時間が増え、家族間の適度な距離感がなくなったこと、親が抱える仕事のストレスや経済的な不安などが大きく影響していると考えられます。直接暴力をふるわれていなくても、親のけんかに心を痛めた小学生が泣きながら電話をかけてくることもあります。「どうしたら止められるの？自分がいるから、けんかをするの？自分が悪いの？」と心配や不安を話します。私たちは、子どもの訴えをじっくり聴いて、痛みを受け止め、そして苦しさを吐き出せる相手を探します。家族、友達、保健の先生など、

生きづらさに悩む子どもたちの、 心安らぐ居場所でありたい

できるだけその子の生活範囲の中で解決できるように心がけます。

●悩んでいる子どもたちに伝えたいことは？

今の社会は“SOS”が出しにくい風潮にあります。子どもは、正しく強く元気でいることが求められ、弱いことが悪だとされがちですが、まず「あなたが悪いのではない」と教えます。痛みに寄り添ってくれる人は必ずいます。だから一人で抱え込まず、SOSを出してください。親御さんも悩みを話してください。私たちが力になります。

●10代の居場所づくりとは、どのような活動ですか？

大阪市営高殿西住宅(大阪市旭区)の1室で、放課後に安心して過ごせる『ティーンズスペース』を設けています。みんなと一緒に料理を作って食べる『ごはんの会』も、月に一度開催しています。簡単にできる料理を学んだり、食べてみたかった

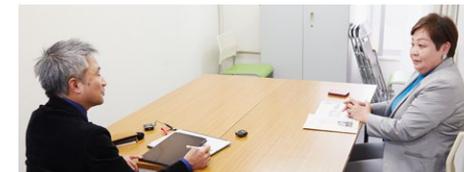


ものを買ったり、誰かと一緒に食べるよこびやおいしいと思う体験を育んでいます。

●フリースクールについて教えてください。

旭自由学院という、週2日制のフリースクールを運営しています。高校進学を希望しているけど中学校に通えない、学校の勉強についていけないという子どもたちも自分のペースで学習ができ、高卒認定試験の受験資格が取得できます。筆談でしか会話ができなかったお子さんが、ここに通ううちに話せるようになりました。同じ時間を過ごすことで、子ども同士が打ち解け、認め合い、共感する力が養われているのだと実感しています。

(2020年11月現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休校中)



取材を終えて

取材した2団体は、苦難を強いられている子どもたちや家族に、考えられる限りの取り組みをされており、たとえコロナ禍でも活動を変えられるものではないことがわかりました。行政の手が届かないところに支援を届け続けている大切な活動と再認識しました。

H2Oサンタ YouTubeチャンネルにて「コロナ禍レポート ~子ども支援の現場から~」を配信中



オンラインイベントで チャリティーの輪が広がりました。

新型コロナウイルス感染症防止対策を踏まえ、オンラインイベントを初めて開催。
「こどもたちに笑顔を贈ろう」という思いで、全国のたくさんの方々とつながりました。

オンラインイベント
レッドノーズデー2020
会場: 阪急うめだ本店9階 阪急うめだホール

レッドノーズデーとは?
8月7日(ハナの日)に“レッドノーズ(赤いはな)”
をつけ、入院中のこどもたちに笑顔を届ける
チャリティーイベントです。



8月7日は“笑顔を贈る日”

2020年8月7日(金)、認定NPO法人日本クリクラウン協会が主催し、H₂Oサンタが協力している『レッドノーズデー2020』を開催しました。毎年8月7日(ハナの日)に開催している『レッドノーズデー』は、臨床道化師とも呼ばれる“クリニクラウン”(クリニック(病院)とクラウン(道化師)を合わせた造語)と一緒に、入院中や自宅

療養中のこどもたちに笑顔を届けるチャリティーイベントです。例年、阪急うめだ本店9階祝祭広場で開催し、たくさんの方々にご参加いただいておりますが、今年は新型コロナウイルス感染症防止のため安全に配慮し、阪急うめだホールにて7人のクリニクラウンがステージで距離を保ちながら、無観客でライブ配信を行いました。

今年は全国のみならずオンラインで

笑顔がつながりました。

ライブ配信では、クリニクラウンが、認定NPO法人日本クリニクラウン協会の活動を、紙芝居で紹介。こどもたちへの思いや大切にしていることをわかりやすくお伝えしました。その後、オンラインでつながった入院中のこどもたちや自宅療養中のこどもたち、病院スタッフがステージ上のスクリーンに映し出され、みんなで一緒に『クリニクラウン体操』で大盛り上がり!全国19カ所約80名の仲間たちや応援してくださる方たちとつながりました。



魔法のかけ声“ノーズ・オン”

赤いはなで笑い合おう!

そしてフィナーレは、正午に向けて全員でカウントダウン。“ノーズ・オン!”のかけ声とともに、クリニクラウンのシンボルマークの“赤いはな”を一斉に装着。楽しいパフォーマンスに、こどもたちはもちろん、

全国でつながっているたくさんの方々にとびきりの笑顔になりました。ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。当日見逃された方はぜひYouTubeをご覧ください。



レポート:H₂Oサンタ事務局
諸見正一



動画はこちら 12月末まで配信(予定)

ボランティアレポート

H₂Oリテイリンググループや法人賛助会員の従業員による、H₂O サンタが橋渡し役となったボランティア活動をご報告します。

支援の輪をひろげる

個人の活動

株式会社ベルソナ
長浦 律子さん

参加のきっかけは、 ボランティア募集ポスター。

以前からボランティア活動に興味を持っていた長浦さん。阪急うめだ本店の従業員施設で『ボランティア募集』のポスターを見て、「これなら自分にもできるかも」と2つの団体のボランティアに申込み、活動を始めました。

月2回のボランティア活動が生活の一部に。

長浦さんが参加したボランティアのひとつは、認定NPO法人プール・ボランティアでの水泳補助です。長浦さんは、少し泳げる程度だそうですが団体スタッフの丁寧な指導で、ペアを組んだお子さんと不安なく水泳を楽しみました。もうひとつは、犬と猫が好きということで参加した、NPO法人ペット・フォー・ライフ・

ジャパン。掃除や洗濯、犬・猫のごはんの準備などのお世話をしました。どちらのボランティアも初日は緊張したようですが一度経験すると、こどもたちから元気をもらったり、動物に癒されたりと充実。今では、月2回のボランティア活動が生活の一部になっているそうです。

レポート:H₂Oサンタ事務局 森田英里



認定NPO法人プール・ボランティア
(障害児に水泳の体験を提供)



ホームページはこちら

プール用車椅子を押す長浦さん

NPO法人ペット・フォー・ライフ・ジャパン
(行き場を失った動物の保護と動物愛護の啓発活動)



ホームページはこちら

大好きな犬とのふれあい

重度障害のこどもたちに優しい笑顔で接していただき、こどもたちも長浦さんの笑顔に安心して水泳を楽しんでいます。長浦さんは、人気のボランティアさんです。



認定NPO法人
プール・ボランティア
織田 智子さん

ボランティアさんのサポートが活動を支える大きな力となり、大変助かっています。



NPO法人
ペット・フォー・ライフ・ジャパン
石本 理佐子さん

寄付報告

社会貢献団体をご紹介します、寄付を募る

チャリティーガイド

チャリティーガイドとは？

阪急うめだ本店9階と12階、神戸阪急本館9階、高槻阪急1階に常設し、社会貢献団体をパネルと動画を用いてご紹介するコーナーです。応援したい団体があれば、その場で募金をしていただけます。

チャリティーガイドでは、有意義な活動をされているのですが、世の中にまだ広く知られていない社会貢献団体を中心に月替わりでご紹介しています。2020年4月~9月は、32団体をご紹介し、702,151円を寄付することができました。



チャリティーガイドは、2012年の阪急うめだ本店のグランドオープンと同時に9階祝祭広場大階段横に設置されました。ご来店されるお客さまに、ふとしたきっかけでチャリティーに接していただければと、阪急うめだ本店では情報発信拠点である9階祝祭広場と、12階のレストランフロアに常設しています。

ご紹介する社会貢献団体は厳選

チャリティーガイドでは、ご覧になった方が「へー、そうなんだ」「そんなことがあったのか」と興味と共感を持っていたり、こども支援活動を行っている社会貢献団体をご紹介します。これまでにご紹介した団体は、100を超えました。阪急うめだ本店では毎月

る立場なのですが、お客さまから「こどもたちのために寄付できる場をつくってくれてありがとう」と温かいお言葉を頂戴することも多く、毎週一定額を寄付してくださる方もいらっしゃいます。また、阪急うめだ本店のチャリティーガイド横には、高さ2mのウォール募金箱を設置しています。この募金箱は、コインが盤上のピンに当たって跳ねながら落ちていく仕組みで、みなさまのご厚意がカタチとなって貯まっていく様子もお楽しみいただけます。こどもたちにも人気で、チャリティーに触れていただく良いきっかけにもなっています。

レポート:H₂Oサンタ事務局
崎山幸四郎



8団体、神戸阪急・高槻阪急ではそれぞれ毎月2団体ご紹介しています。ご寄付には、H₂Oサンタがお礼をお伝えます



NPO法人 つなげる (多胎児家庭のつながりを支援)



- 代表: 中原美智子さん
- 設立年: 2018年 ■所在地: 兵庫県尼崎市
- HP: <https://tsunagerunpo.com/>

ホームページはこちら



NPO法人つなげるは、多胎児(双子や三つ子など)がいる家庭のつながりを支援しています。代表の中原美智子さんは、双子を育てた経験から、どんな環境でも当たり前命の誕生をよるこび、自分らしい子育てができる環境を整えることを目標に多胎児家庭の支援を始めました。

気軽に相談できるよう、 全国の多胎児家庭を“つなげる” 活動を行っています。

多胎児の出産は、単胎児に比べ、早産・死産・低出生体重児になる可能性が高いことが知られています(出典:厚生労働省「多胎児支援のポイント」)。代表の中原さんの場合、妊娠がわかったとき、出産に伴う様々なリスクの説明を受け、どうすれば最善の出産ができるかといった問題が優先され、手放しでよろこべないことがあったそうです。また、育児にかかる費用や時間の確保も大きな問題です。そんな課題を解決するには、悩みを相談できる多胎児家庭とのつながりが大切なのですが、多胎児が生まれる割合は、約1%しかありません。「つなげる」では、多胎児家庭が孤立しないよう、全国の家庭をオンラインでつなぎ、気軽に

話せるLINEチャットと、安心して話せる有料会員制サロンを運営。また、多胎児育児の経験を役立てられる“ピア(同じ境遇の)サポーター養成講座”を開催し、修了者は支援の現場で活躍されています。多胎児育児にがんばっている方、同じ境遇の人たちと相談したい方はぜひ、ホームページをご覧ください。

レポート:H2Oサンタ事務局 森田英里



一般社団法人 小さいのちのドア (妊産婦や赤ちゃんのいのちを守る活動)



- 代表: 永原郁子さん
- 設立年: 2018年 ■所在地: 兵庫県神戸市北区
- HP: <https://door.or.jp/>

ホームページはこちら



一般社団法人小さいのちのドアは、マナ助産院(兵庫県神戸市北区)の院長、永原郁子さんが長年、出産に携わってこられた経験から“思いがけない妊娠や、出産しても子どもを育てられずに悩む女性たちの助けになるう”と設立した団体です。『誰でも24時間相談できる窓口』を開設し、助産師や保健師が電話だけでなく、来所相談にも対応しています。

傷ついた女性に寄り添い、 「誰にも言えないこと」に 耳を傾けます。

「出産を家族に反対されている」「検診や出産の費用がない」「性的暴行の被害にあった」など、誰にも相談できず途方にくれている妊婦や、助けてくれる人がおらず孤独だったり虐待してしまったりと、育児に追い詰められて悩んでいる母親がいます。小さいのちのドアは“深い傷を負う前に少しでも傷つく女性を減らしたい”という思いで活動しています。全力で寄り添い、女性と赤ちゃんにとって一番良い解決策を一緒に探してくれます。また、行き場のない妊婦の居場所となり、産後も安心して過ごせる場所として『マタニティホーム』も運営しています。妊娠・出産・育児にひとりで悩んでいたら、ぜひご相談ください。

レポート:H2Oサンタ事務局 森田英里



相談窓口

電話 (078) 743-2403

Eメールアドレス
inochi@door.or.jp

LINE IDはこちら



寄付額合計 16,353,182円

チャリティーガイドやイベントで集まった寄付金を、56団体へ寄付いたしました。みなさまのご協力ありがとうございました。

- 認定NPO法人アクセス-共生社会をめざす地球市民の会
- 認定NPO法人アニマルレフュージ関西
- 認定NPO法人児童虐待防止協会
- 認定NPO法人ジャパンハート
- 認定NPO法人女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ
- 認定NPO法人テラ・ルネッサンス
- 認定NPO法人日本クリニックラウン協会
- 認定NPO法人日本レスキュー協会
- 認定NPO法人ノーベル
- 認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
- 認定NPO法人プール・ボランティア
- 認定NPO法人メリーミーズ
- NPO法人アイケアキッズ(i-care kids)京都
- NPO法人アスロン
- NPO法人あっとオーティズム
- NPO法人あっとすくーる
- NPO法人おおさか子ども多文化センター
- NPO法人オーシャンゲート ジャパン
- NPO法人関西子ども文化協会
- NPO法人CAPセンター・ジャパン
- NPO法人子どもセンター めつく
- NPO法人子どもデザイン教室
- NPO法人コンセント
- NPO法人しぶたね
- NPO法人弱視の子どもたちに絵本を
- NPO法人ジャーダック(JHD&C)
- NPO法人性暴力被害者支援センター・ひょうご
- NPO法人全国不登校新聞社
- NPO法人そらいろプロジェクト京都
- NPO法人タイ国学生日本語教育環境支援プロジェクト
- NPO法人チャイルド・ケモ・ハウス
- NPO法人つなご
- NPO法人西成チャイルド・ケア・センター
- NPO法人西淀川子どもセンター
- NPO法人日本子ども支援協会
- NPO法人日本サービスドッグ協会
- NPO法人兵庫介助犬協会
- NPO法人兵庫県子ども文化振興協会
- NPO法人ペット・フォー・ライフ・ジャパン
- NPO法人マミー(MAMIE)
- NPO法人ラマモンソレイユ
- NPO法人レインボーチルドレン(Rainbow Children Japan)
- 公益財団法人梅ヶ枝中央きずな基金
- 公益財団法人関西盲導犬協会
- 公益財団法人ジョイセフ
- 公益財団法人民際センター
- 公益社団法人アジア協会アジア友の会
- 公益社団法人家庭養護促進協会 大阪事務所
- 公益社団法人子どものホスピスプロジェクト
- 社会福祉法人中央共同募金会
- 社会福祉法人日本ライトハウス
- 社会福祉法人兵庫盲導犬協会
- 一般財団法人日本ドリームボード財団
- 一般社団法人ニュールック(new-look)
- あかりバンク
- 大阪府新型コロナウイルス助け合い基金

『2020年7月豪雨災害』支援金募金にご協力ありがとうございました。

『2020年7月豪雨災害』により被害を受けられたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。H₂Oサンタでは、7月8日(水)から21日(火)まで、H₂Oリテイリンググループ企業の各施設で、『2020年7月豪雨災害』支援金募金を実施しました。お客様からの募金にH₂Oリテイリンググループ各社および従業員からの寄付金を加え、合計3,171,770円を社会福祉法人中央共同募金会「災害ボラン

ティア・NPO活動サポート募金」に寄付させていただきました。ご協力いただきましたみなさま、ありがとうございました。



お知らせ

H₂Oサンタの YouTubeチャンネルにて「コロナ禍レポート」配信中！

新型コロナウイルス感染症は、社会貢献団体の活動にも大きな影響を及ぼしています。H₂Oサンタはコロナ禍での、こども支援の現場の困りごとや新しい取り組みなど社会貢献団体取材した動画を配信しています。また、H₂Oサンタの様々な活動も随時配信してまいりますので、チャンネル登録をお願いいたします。



YouTubeはこちら

クレジットカード決済でご寄付いただけるようになりました。

店頭募金箱に加え、H₂Oサンタのホームページからクレジットカード決済でご寄付いただけるようになりました。パソコンからでも、スマートフォンからでも、ホームページの「ご寄付のお願い」からアクセスをお願いいたします。応援したい団体を選んで寄付いただくことができます。



ホームページはこちら



一般財団法人H₂Oサンタは、H₂Oリテイリンググループの社会貢献団体です。
 こども支援をテーマに、地域社会にチャリティーの文化を創造することを目的とした
 4つの活動を行っています。

1 社会貢献団体と連携した啓発・募金活動

展示会やイベントで様々な団体を紹介し、寄付を募る活動を行っています。

2 寄付のためのイベント

寄付金を集めるための販売会・展覧会・ダンスイベントなどを開催しています。

3 ボランティアの仲介

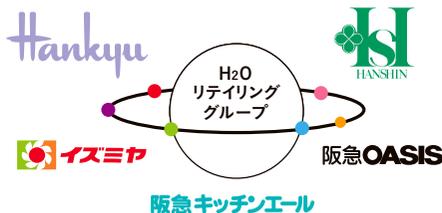
ボランティア活動に参加していただける方々と社会貢献団体をつないでいます。

4 調査・発表

こどもたちに関連する諸問題を調査し、本誌などで紹介しています。

[H₂Oリテイリンググループ]

生活総合産業グループとして、地域社会の発展と豊かな生活環境づくりに貢献しています。



賛助会員ご加入のお願い

H₂Oサンタの活動を継続するためには、皆様からのご支援が必要です。
 活動の趣旨にご賛同いただき、賛助会員へのご加入よろしくごお願いいたします。

【会員種別】	【年会費】
法人会員	1口 50,000円
個人会員	1口 5,000円

<お申込み方法>

右記の
 二次元コードから
 お申込みください。



法人会員様
 一覧



個人会員様
 一覧



<問い合わせ先>

一般財団法人H₂Oサンタ事務局
 TEL 06-6313-9304 10:00～18:00 ※火・日曜以外

